

## 令和7年度 第2回みなみ協議会議録

【日 時】令和7年11月26日（水）15：40～16：30

【場 所】本校2階会議室

【出席者】神奈川県立保健福祉大学副学長 金井 信高 様

横浜fカレッジ専門学校教務部長 小松 加代子 様

アンガージュマン・よこすか理事長 島田 徳隆 様

横須賀国際交流協会事務局次長 スコムスキー・久美子 様

校長 片岡 浩介 副校長 金井 一夫 教頭 櫛引 裕雄

教務G 大石 昌宏 進路G 二瓶 次夫 総務G 小川 浩二 広報連携G 林 瞳

生活指導G 長島 円 生徒活動G 山崎 泰 生徒相談G 小松原 肇 [14名]

### 1. 挨拶等（省略）

### 2. 各グループより中間報告

#### 教務 G

・中間報告済み。来月初めから期末テスト開始、2学期成績処理に入る。

・事故防止を徹底。

・カリキュラム検討を開始。現状の生徒に合った内容を模索中。

#### 進路 G

・就職希望者 50名超。ホテル・カフェなど希望を貫く生徒も。

・進路活動で成長を実感する声あり。

・進学は指定校結果待ち、AO複数名合格。

・卒業生による業種説明を推進。

#### 広報 G

・第1回説明会：260名（21組）参加。中学生・保護者の関心高い。

・第2回説明会：体験授業・部活動体験。第3回は個別相談中心。

・学校説明会等において OSS生徒が積極的に活動。

・生徒の学校での活動等について HP更新中。

#### 総務 G

・ICT管理の改善検討中。導入～定着済み。

・Google Workspace活用をさらに提案。3年生で活用場面増加。

#### 生徒指導 G

・教員欠員増加、生徒問題行動も増加。

・基本的生活習慣・社会規範が未定着の生徒多い。

・1年教員の疲弊感あり。今年度の指導件数現在 54件。

#### 生徒活動 G

・文化祭は無事終了、来場者 1000名超。生徒主体を意識するも担任サポートは必須。

・部活動加入率低い（運動部さらに低い）。

#### 生徒相談 G

- ・教員間の情報共有を強化。毎週木曜 6 時間目に学年を越えて共有。
- ・教員間のコミュニケーションが積極的に行われている。有機的な結びつきを目指す。

### 3. 質疑応答

- ・特別指導の内容：重たいものは無期。
- ・生徒間トラブルや転退学者の増加：コミュニケーション力の不足。中学時代長欠者も増加。
- ・就職希望増加理由：家庭の支えが少なく自力での生活が必要な生徒あり。教員が進学・就職指導を兼務。
- ・AI リテラシー教育：必要性指摘。
- ・教員不足対応：非常勤講師で授業には対応しているが、他の業務については負担増。
- ・部活動活性化：難しい現状。アルバイトに従事する生徒が多く、部活動への参加意欲が低下。吹奏楽部など顧問の支援で活動継続。生徒と教員が一緒になって活動している姿は本校ならでは。
- ・大学との交流：希望あれば可能。
- ・今年度の文化祭の様子：文化祭は昨年同様、調理・屋台・アトラクション・PTA 企画あり。

#### 【各部会議録】

評価部会（小松様・スコムスキ様・二瓶・山崎）

<学校の評価方法として、非認知能力やルーブリック評価を活用し、成長曲線を見てあげて、対応力や社会人としての能力を育てていく>

○コミュニケーションを含めた人間関係の構築の方法など、社会実践の授業を通して 3 年間の成長を考えている。

○習熟度別の授業は現実的には難しい。多様な生徒がいる中で評価の基準を考えしていくことは難しい。表面的に見えていること以外にも様々な課題を抱えているので、そういう生徒たちをどう支援、指導、評価していくのか課題である。

<授業内での席順はどうか。席順を習熟度別にするのはどうか>

○それを行っている授業もある。自分が課題を終えたら、他のクラスメイトに教えてあげるような協同学習の時間も作っている。

○検定など、目標をもちチャレンジする過程も大切である。教員も多忙な中でも生徒と関わり、その生徒に合った目標と一緒に探している。

○保護者の教育への理解も欠かせない。学校だけではどうにもならないこともある。

○支援が必要な生徒に対しては、教員 2 人体制で対応する。また、進学を目指して頑張っている生徒についてもサポートは欠かせない。学校だけでは限界もある。専門職を含めたサポート体制の充実が必要である。

クリエイティブ部会（島田様・大石・小松原）

<支援級で学んだ生徒について>

○近年、増えているように思う。

○その中には、支援級でなくてもよいのではと思う生徒もいる。

○小中学校での積み残しの学習を高校 3 年間でクリアするのには時間が足りなさすぎる。

○高校では、成功体験を積み重ねていけるといいと思うが、やはり時間が足りない。

○経済的にも家庭環境の厳しい生徒たちが多い。そういうことも考えていく必要がある。

※福祉部会は欠席者が多く未開催とした。